

## 07 鳶職のカッコよさを見える化 / 有限会社山下組(京都府)

## 概要

現場の華である「鳶職のカッコよさ」を見える化し、発信することで雇用確保を図っています。

## 背景

業界全体が人手不足に陥る中、ベテラン職人の退職が続き従業員が減少。事業存続が危ぶまれる状況に陥りました。

かつて、鳶の姿はあこがれの対象でしたが、3Kのイメージもあり、その印象は薄れつつありました。世間の鳶職人に対する認識を改め、「カッコいい仕事」と思ってもらえるよう、仕事内容の情報発信とイメージ改善に取り組みました。

## 取組内容

多くの求職者は、インターネットを介して情報収集を行っています。当社ではホームページの開設はもちろん、若者に訴求力のあるSNSでも情報発信を行っています。

“建設会社らしくない建設会社”をコンセプトに、仕事のスナップ、映画「オーシャンズ11」をモチーフとした集合写真、ファッション雑誌のグラビアをイメージしたものなど“映える”写真を投稿しています。撮影ではスタジオを利用したり、プロに依頼したりすることもあります。



3Kイメージを壊す写真 / 撮影した写真は卓上カレンダーなどにも使用し、取引先や社員の家族にも配布。社員の自己肯定感の醸成につながっています。

## 少年院や刑務所に向けた情報発信

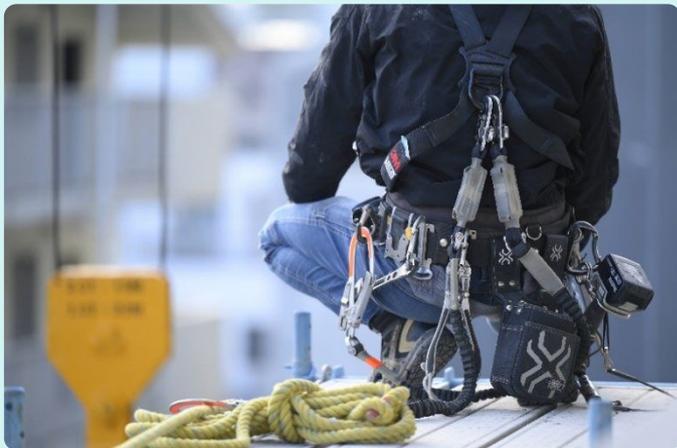
当社は「日本財団職親プロジェクト」に参画し、刑務所や少年院での企業説明会も行っています。

社会復帰者へ再チャレンジを促すとともに、当社にとっても貴重な採用機会となっています。

## 成果

入社希望者が増え、人員が順調に拡大しています。面接でも“SNSを見て来ました”と言われることがあり、当社の魅力が伝わっているようです。

また、ワークウェアブランドから声が掛かり、当社従業員の写真が紙面のカタログに掲載されるなど、鳶職人全体のイメージアップにも貢献しています。



日常業務に隠れているカッコいい瞬間を切り取り、写真にすることで、業界外にも魅力を伝えること(“見える化”)ができます。

## Another ACTION!

## DXや生産性向上への取組み

情報発信だけでなく、生産性向上にも力を入れています。

勤怠管理アプリの導入や経費支払いのキャッシュレス化、WEB会議の実施などによって、現場と事務所間の移動時間を減少させました。また、報告書作成もスマホで行えるようにすることで入力しやすくなり、報告内容の質も向上しました。

さらに、賞与基準を明確化し、会社の利益が従業員自らの収入に直結することを感じてもらっています。「忘れ物をなくす」「効率的な移動方法を考える」など、無駄をなくすという意識づけにつながっています。

これらの取組は好評で、若手から「社長ガチャで当たりを引いた」との声が挙がるなど、社内外から当社の魅力が評価されています。

代表者	山下 永似
住所	京都府宇治市宇治妙楽171-7 三千堂ビル2階
連絡先	0774-24-8546
事業内容	仮設工事等
従業員数	29名
設立年月	2001(平成13)年7月